

1 派遣期日 平成28年10月14日（金）～10月15日（土）

2 研修先 横浜国立大学教育人間科学部附属鎌倉小学校
鎌倉市雪ノ下3-5-10
<http://www.kamakurasho.ynu.ac.jp/>

3 研修内容

(1) 公開授業参観

① 5年算数科

○单元名：整数の性質を調べよう（偶数と奇数）

○本時の子どものゴールイメージ

- ・ 既習を生かし、図や式や言葉などを用いて、偶数と奇数の和の性質を理解する。

○本時のストーリーデザイン

ア ゲームの説明をする。

- ・ ボックスA（偶数）、ボックスB（奇数）のそれぞれの箱から数字カード3枚をひく。
- ・ どちらの箱からでもよいが、必ず3枚のカードをひき、3枚のカードの和が偶数だったら1点で、奇数だったら3点となる。
- ・ 3回勝負を行い、点数の高い方が勝ちとする。

イ 実際に何回かゲームをする。（教師対児童代表）

ウ ゲームをして気づいたことを発表する。

エ それぞれの箱からカードをひいて確かめてみる。

オ 奇数と偶数と偶数をたすと答えが奇数になるのはなぜかを考える。

カ 考えた理由を発表する。

キ 本時のまとめをする。

ク 本時の学習の振り返りをする。

② 5年外国語活動

○单元名：クイズからコミュニケーションをつくろう

○本時の子どものゴールイメージ

- ・ ヒントが伝わるようにクイズを伝える。相手を大切にしてクイズを聞く。
- ・ クイズでお気に入りのものを聞いたり伝えたりして、質問や感想などを伝え合い、コミュニケーションを楽しむ。

○本時のストーリーデザイン

ア 今日のゴールをイメージする。

イ ヒントの「色」「形や大きさ」「場所」についての表現を繰り返し使いながら、身につける。

ウ グループでクイズを出し合う。

エ グループで、伝え方や聞き方について振り返る。

オ もう一度クイズを伝え合う。

カ 今日の授業を振り返る。

② 6年外国語活動

○单元名：行きたい所について聞こう話そう

○本時の子どものゴールイメージ

- ・ 自分が行きたい国について簡単な理由もつけて言う。友だちが行きたい国について、相手を大切にして聞く。

○本時のストーリーデザイン

- ア 前回の振り返り，本時の確認をする。
- イ 国名クイズをする。
- ウ お世話になっている先生の行きたい国について聞く。
- エ 行きたい国について理由もつけて言う。
- オ 本時の学習の振り返りをする。

(2) 小中交流授業参観（外国語活動・英語科 小学校5年・中学校1年）

○单元名：素敵なメッセージカードを作ろう

○学習活動：相手の好きなものやことについて尋ねたり答えたりして，相手に送る素敵なメッセージカードを作るための情報交換をする。

○本時の目標

小学生…自分の好きなものやことについて答えながら，他者に対して自分の思いを伝えることの難しさや大切さを実感し，積極的に自分の思いを伝えようとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

中学生…相手の好きなものやことを尋ねる中で，積極的に自分の考えを相手に伝えようとしたり，相手の考えを理解しようとしたりする。 【外国語表現の能力】

○本時の展開

- ① 小学生と中学生がペアになり，英語で自己紹介をする。
中学生は相手を知るための質問をする。小学生はなるべく英語で答えるようにする。
 - ・ What is your name?
 - ・ Where do you live?
 - ・ Who is your best friend? Why?
- ② 教師のデモンストレーションを見ながら，活動内容や活動で使える表現を把握する。
 - ・ それぞれの先生が好きなものは何か質問しながら確認する。
 - ・ メッセージカードのイメージを見せる。
- ③ 小学生と中学生のペアで，中学生が主に質問をし，小学生が答える形で情報交換する。相手が話したことをメモを取りながら聞く。
- ④ 途中で活動を止めてフィードバックと共有の時間をとる。
 - ・ どんな質問をされた？質問をした？
 - ・ こんな質問をされて面白かった
 - ・ こんな意外な質問や答えがでた
- ⑤ 情報交換の続きを行う。



4 感想

算数科の授業では，ゲームを通して自分で疑問をもち，課題解決していく姿勢が見られた。また，なぜそうなるかの理由の発表から，友だちの考えを聞くことで，新しい考えを知ったり，自分自身の考えを広げたりしていた。

外国語活動の授業では，「コミュニケーションの心地よさをつくる」という教科テーマのもと，外国や外国語への興味関心をもたせるための魅力ある教材・言語材料が使われていたり，相手が嬉しくなるようなリアクションを意識した授業が行われていたりした。

小中交流授業では，相手に送る素敵なメッセージカードを作成するという目標に向け，小中学生がお互いの好きなことを知るために，表現の工夫をしながら，英語でコミュニケーションをとる姿が印象的だった。

今回の研修で学んだことを，日々の実践に生かしていきたい。